

女性職員からのメッセージ

当本部では、現在4名の女性職員が活躍しています。仕事内容や体験談、消防職員を目指す皆さんへのメッセージです。

平成27年度採用

採用前に不安に思っていたことで、実際に働き始めて私なりに感じたこと。



- 1 私は、地元が佐賀県で地理も分からず、「どの辺りにアパートを借りればよいのか？」よくわかりませんでした。採用が決まってからすぐに京築管内にアパートを借りましたが、勤務明けや休みの日のことを考えると、近くに駅やコンビニ、スーパーなどがあると便利だなと思いました。
- 2 消防の仕事内容がよく分かっていなかったため、「ときどき実家に帰省できるのか？」と不安に思っていました。休みはきちんとあるので大丈夫でした。
- 3 「男性ばかりの職場だけど馴染めるのか？」と思っていました。年齢が近い職員も多く、先輩も気軽に声をかけ指導してくれるので、馴染むことができました。
- 4 消防学校は厳しいと聞いていたので「無事卒業できるか？」と心配でした。確かに消防学校は厳しかったのですが、一緒に入校した同期みんなと協力して、無事卒業することができました。
- 5 私は料理が得意ではないので、食事を当番（ひとり）制で作るのか？心配でした。食事については配属先により異なりますが、私の勤務する本署では、先輩や後輩と一緒に手分けして作ることで、安心しました。
- 6 私は採用時、救急救命士の資格を取得していたので主に救急の仕事をするものと思っていましたが、救急隊員だけでなく、消防隊や指令室員（119番緊急通報対応）としての勤務もあり、現場出動以外の事務仕事もあるので、覚えることはたくさんありますが、やりがいがあります。

京築消防は先輩方との距離が近く、気軽に話ができる雰囲気があります。ぜひ私たちと一緒に仕事しましょう。



平成24年採用

私は救急救命士を目指し専門学校に通い、京築消防の女性消防士第1号として採用されました。現在は結婚・出産を経験し、2人の子を持つ育児真っ只中の消防士です。

結婚前は勤務地の本署まで近かったのですが、結婚後は本署から遠方のアパートを借りました。妊娠時の長時間の通勤はお腹が張ってきつかったので、勤務場所に近いところにアパートを借りるほうが良いと思いました。

妊娠が判ってからすぐに上司へ報告したところ、体への負担を考慮し、その日の2交代勤務（8時30分から翌8時30分）から毎日勤務（8時30分から17時）へ変更してくれました。その後も、出産前後の休暇、子供が1歳になるまでの育児休業、復職時の育児へ配慮した勤務など、職場からのフォローがあり、育児と仕事を両立することができました。

育児中の母親が2交代勤務をするには、家族（配偶者・両親）や職場の協力が必要なので、よく話し合ってから決めたほうが良いと思いました。

私の経験上、救急隊員として出動した時に、患者さんや男性消防士から「対応してくれた方が女性で良かった。」と言われたことがあり、女性の活躍できる場所は多々あると感じました。

職場はもとより私たち女性消防士もしっかりサポートしていくので、ぜひ京築消防と一緒に働きましょう。

平成26年採用



私は兵庫県出身で、小さいときに阪神淡路大震災を経験し消防士を目指しました。採用前に体力面で不安を感じていましたが、男性に負けない強い気持ちを持って、走ったり、筋力トレーニングを行い、そうすることで徐々に体力もつきました。また、周りのサポートのおかげで消防学校のきつい訓練にも耐えることができ、無事卒業できました。

現在、私は本署において2交代勤務（8時30分から翌8時30分）をしていますが、女性用の仮眠室など設備は整っており、特に不自由を感じたことはありません。

私は救急救命士ではありませんが、消防隊員でありながら救急隊員を兼務し、更に救急車や指揮車の運転もします。地元ではないため、地理の不安など他の隊員以上に頑張らなければならないことも多々ありますが、色々な経験をすることもできるし、やりがいがあります。

消防士になりたいと思う人は、ぜひ受験してください。一緒に働ける日を待っています。